

医療創生大学大学院 2025 年度 社会人入学試験

【出題の意図】

科目	英語
対象研究科・専攻	生命理工学研究科 生命理工学専攻

※本件についての質問・照会には、個別に回答することは致しません。

【問題 1.】

既存研究の歴史的変遷と論争点（中枢性対末梢性機序、パラメータの不統一）を整理し、本研究が実施されるに至った科学的必然性を論理的に提示する能力を問う。単なる事実の羅列ではなく、臨床的有用性と基礎的エビデンスの乖離という問題意識を明確に構造化できるかを評価する。

【問題 2.】

研究の核心となる独立変数（刺激パラメータ）と従属変数（NPL、MPT、TT）の関係性を正確に把握し、何を解明しようとしているかを具体的かつ簡潔に記述する能力を問う。生理学的変化と感覚的变化の連関を通じて鎮痛メカニズムに迫るという、研究仮説の構造的理解を評価する。

【問題 3.】

科学的妥当性を担保するための実験デザイン（無作為化、二重盲検、対照群、サンプルサイズ）や測定プロトコルの詳細を正確に抽出する能力を問う。バイアス排除のための手続きや、刺激条件の統制、経時的測定の設計など、再現性のある研究計画に必要な要素を理解しているかを評価する。

【問題 4.】

統計学的有意差に基づき、主要な知見とそうでないものを峻別し、核心的な結果（110Hz/200 μ s 条件の特異性と NPL・閾値の相関）を抽出する能力を問う。膨大なデータの中から、仮説を支持するエビデンスを論理的に整理し、末梢性機序の存在という結論へ導く分析力を評価する。